

番町



第 23 号 令和 7 年 10 月
発行 番町小学校同窓会
〒 102-0085 東京都千代田区六番町 8
千代田区立番町小学校内
TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731
HP: <https://bancho-obog.com>
編集 番町小学校同窓会事務局
印刷 株式会社 精興社



令和6年度卒業生72名が
同窓会に入会されました

新任学校長（幼稚園長兼務）ご挨拶



番町小学校 校長

みこし ひでのり
美越 英宣

令和7年4月着任

本年度より、制度の改正に伴い、番町小学校及び番町幼稚園の校園長を拝命いたしました。また、番町小学校の第31代校長として着任いたしましたことを、ここに御報告申し上げます。

本校は、本年の12月4日に創立154周年を迎えます。この長い歴史の中で培われた校風と伝統を継承するために、全教職員が一丸となって努力を続けております。その成果は、番町小学校の新たな歴史の一頁を刻むこととなります。

本校一階にある記念資料室には、明治時代からの番町小学校の歴史が展示されています。この貴重な展示は、同窓会の皆様をはじめとする多くの方々の御尽力によって実現しました。私は、時を忘れて一つ一つの展示に見入る中で、番町小学校の歴史と未来を後世へ継承することの大切さを改めて実感いたしました。

150周年記念行事の際には、東京都知事 小池百合子様より御祝辞を賜り、その中で「明治、大正、昭和、平成、令和という長い年月の中、幾多の困難を克服し、多くの人材を輩出してきたその歴史は、時代を先取りした教育の大切さを示しています」と強調していただきました。このお言葉は、これからの教育の方向性を示すものであり、改めてその責任の重さを感じております。

ぜひ、本校にお越しいただき、教育目標の「考える子 思いやる子 やりぬく子」の実現に取り組んでいる子供たちを応援してくださいませよう、お願い申し上げます。

令和7年 学年幹事会 報告

令和7年 6/15(日) 14時～16時 番町小学校 3階 ランチルーム
出席者 20名 議決権行使・委任状 40名

- 第1号議案 令和6年度事業報告
- 第2号議案 令和6年度決算報告・監査報告
- 第3号議案 令和7年度事業計画
- 第4号議案 令和7年度予算

議案はすべて承認された。

令和6年度 事業報告

- ・学年幹事会 令和6年 6/23(日)
- ・事務局会議・会報委員会 令和6年 4/28・5/23・8/18 令和7年 3/21・3/29
- ・55歳以上対象同窓会O-55 令和6年 12/1(日)
- ・番町小学校講堂 110名参加
- ・学生対象同窓会U-20 令和7年 3/29(土)
- ・番町小学校講堂 80名参加
- ・会報22号発行及び発送(印刷7,000部、発送6,000通)
(在校生・教職員450通)
- ・同期会、クラス会へのバックアップ(会報の原稿謝礼) 3件
- ・同窓会HP運営 記事の更新、イベント参加希望をHP上で受付
- ・名簿管理

令和6年度 決算報告

令和6年度 決算報告

令和7年3月31日 貸借対照表(単位:円)	
資産の部	負債の部
手元現金 108,875	未払金・借入金 0
普通預金(みずほ銀行) 4,331	0
定期預金(郵貯) 10,650,000	資本の部
通常貯金(郵貯) 837,838	事業準備引当金 10,650,000
資産合計 11,601,042	次期繰越金 951,042
	負債・資本合計 11,601,042

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの収支計算書

1 収入の部		(単位:円)	
	令和6年度決算	令和6年度予算	繰越(決算関係)
前期繰越金	757,663	757,663	862,610
卒業生入会金	72,000	70,000	68,000
年会費・寄付	3,377,000	1,800,000	3,228,000
雑収入	214,000	30,000	2,941,097
利息	3,825	2,000	4,090
事業準備引当金取崩	200,000	1,000,000	1,200,000
収入合計	4,624,488	3,659,663	8,303,797
2 支出の部		(単位:円)	
	令和6年度決算	令和6年度予算	繰越(決算関係)
活動費	292,676	400,000	394,938
通信費	858,651	800,000	726,378
印刷事務費	230,266	250,000	207,054
会報作成費	484,000	500,000	484,000
慶弔費	8,740	20,000	0
HP関係費	31,592	40,000	63,074
備品費	98,620	30,000	0
修繕費	154,000	20,000	0
雑費	4,400	20,000	20,690
事業準備引当金組入	500,000	1,500,000	5,650,000
予備費	1,010,501	79,663	0
次期繰越金	951,042	0	757,663
支出合計	4,624,488	3,659,663	8,303,797

経理報告 令和6年度決算を上記の通り報告致します。

令和7年4月1日

会計

古澤正夫

本本京子

監査報告 預貯金通帳その他の書類を監査しました結果、正確かつ適正であることを認めます。

令和7年5月6日

会計監査

和田 一郎

金子 順一



日枝神社山王祭 傳田校長先生



番町こども会に参加



20歳以下の同窓会

- ・番町小学校行事出席(入学式・運動会・学芸会・卒業式)
- ・地域・愛育会行事への協力(番町こども会・夏季ラジオ体操)
- ・記念資料室整備(校旗の修復・沿革史パネル設置)
- 令和6年度 収入
- 年会費 694名 1,442,000円
- 寄付 223名 1,935,000円
- 合計 3,377,000円
- 入会金 72名 72,000円

令和7年度 事業計画

- ・ 学年幹事会 令和7年 6/15(日) 14時～16時
- ・ 執行部・事務局会議、U-20、創立記念日懇親会 など
- ・ 記念資料室整備
- ・ 会報23号の発行及び発送
- ・ 同期会、クラス会へのバックアップ（開催費用の一部補助）
- ・ 同窓会HP更新
- ・ 名簿管理
- ・ 番町小学校行事への参加
- ・ 地域・愛育会行事への参加
- ・ その他 本会目的を推進するための事業

令和7年度予算

1. 収入の部

	令和7年度予算	令和7年度予算関係摘要	令和6年度決算	令和6年度予算
前期繰越金	951,042		757,663	757,663
卒業生入会金	70,000	令和7年度卒業生70名×1,000円	72,000	70,000
年会費・寄付	1,800,000	会費・寄付	3,377,000	1,800,000
雑収入	30,000	イベント参加費など	214,000	30,000
利息	2,000	定額貯金満期利息など	3,825	2,000
事業準備引当金取崩	0	定額貯金 満期金	200,000	1,000,000
収入合計	2,853,042		4,624,488	3,659,663

2. 支出の部

	令和7年度予算	令和7年度予算関係摘要	令和6年度決算	令和6年度予算
活動費	500,000	学年会補助、U-20、卒業記念品、卒業アルバム、会議お茶代など	292,676	400,000
通信費	950,000	会報送付、各種案内送付	858,651	800,000
印刷事務費	300,000	封筒作成、文房具、文書作成	230,266	250,000
会報作成費	500,000	会報第23号	484,000	500,000
慶弔費	20,000	弔電、香典、生花	8,740	20,000
HP関係費	40,000	HP 年管理運営費	31,592	40,000
備品費	30,000	資料室備品	98,620	30,000
修繕費	100,000	PC機器、資料室備品修繕	154,000	20,000
雑費	10,000	振込手数料他	4,400	20,000
事業準備引当金繰入	300,000	定額貯金 新規積立	500,000	1,500,000
予備費	103,042		1,010,501	79,663
次期繰越金	—		951,042	0
支出合計	2,853,042		4,624,488	3,659,663

上記を令和7年度予算として提出します。
各科目の予算額に過不足が生じた場合は、会長の承認を条件として相互に流用できるものとする。

令和7年5月6日

会計 古澤正夫
本木京子



NHKのTV番組「ファミリーヒストリー」の取材



55歳以上対象同窓会 Over 55

・ 落語家立川志らく師匠の父方の祖父・近代灸治療の元祖 深谷伊三郎（明治45年度卒）が番町小学校の卒業生で、NHK「ファミリーヒストリー」のスタッフが記念資料室に取材にきました。ディレクターの牛山真一さんも卒業生（昭和47年度卒）で、懐かしい資料をご覧になっていました。

・ 153周年にあたる令和6年、「55歳以上で集まろう！」での企画は100名余りの参加者！「新橋亭」の本格中華をケータリングで楽しみつ、「ドリンク片手に学年の壁を跨ぐ交流」は、笑顔で溢れていました。母校との一体感に包まれる記念日の歌へ明治4年のと、校歌へ我がかざせるの懐かしい調べが心底沁みました。

令和6年度（2024.4/1～2025.3/31）寄付者ご芳名

(敬称略)

氏名	ID	金額	氏名	ID	金額	氏名	ID	金額	氏名	ID	金額
湖山泰成	S42-213	1,000,000	板橋瑛太郎	R01-206	5,000	對間啓人	H24-215	3,000	田中資雅	H28-111	2,000
山本直巳 (ご逝去)	S22-210	30,000	板橋旺真	R03-105	5,000	田原純子	S49-440	3,000	今津幸雄	S40-104	2,000
並木克己	S40-428	20,000	板橋碧泉	H29-103	5,000	片山照敏	S44-409	3,000	飯吉雅子	S28-137	2,000
相川菊美	S41-142	20,000	泉 淨	S40-348	5,000	久保川幹夫	S43-511	3,000	笠木 俊	S34-445	2,000
西岡芳文	S44-127	20,000	馬場黎子	S37-449	5,000	松岡慶昌	S24-120	3,000	松島貴美子	S50-137	1,000
山崎安泰	S28-128	18,000	山城健二	S63-122	5,000	金 民世	S50-109	3,000	市村有紀子	S61-131	1,000
杉 大次郎	S29-122	15,000	渡邊愛佐	H20-231	5,000	松橋裕祉	S30-129	3,000	市村美桜子	H28-203	1,000
石原 修	S46-303	10,000	桃原侑平	H18-125	3,000	中山久子	S44-453	3,000	齋藤 旬	R04-211	1,000
降旗 宏之	S46-124	10,000	荒川秀夫 (ご逝去)	S23-101	3,000	徳永尚文	S41-524	3,000	布村定雄	S24-108	1,000
降旗 史子	S19-331	10,000	原 美鈴	S42-246	3,000	塚脇愛理	H19-230	3,000	布村行雄	S56-122	1,000
松尾一也	S34-619	10,000	佐藤泰広	S51-415	3,000	塚脇彩加	H22-220	3,000	布村文雄	S58-319	1,000
豊島快兒	S41-224	10,000	柳澤洋美	S50-139	3,000	塚脇朱梨	H24-129	3,000	藤野宗孝	S36-527	1,000
米澤龍太郎	S63-124	10,000	草刈隆郎	S26-218	3,000	鮫島和子	S33-346	3,000	横山英貴	S42-534	1,000
浜田敏男	S41-530	10,000	柳澤仁那	H27-231	3,000	長岡 真	S44-329	3,000	曾根康司	S59-311	1,000
河野元嗣	S47-315	10,000	世耕行夫	S43-520	3,000	明石 顕	H01-101	3,000	遠藤 彰	S42-406	1,000
三ッ木 宏	S40-533	10,000	杉村信寿	S44-117	3,000	明石 学	S61-101	3,000	小倉裕貴	H20-305	1,000
杉村憲司	S40-519	10,000	岡野洋三	S41-209	3,000	荒木 淳	S42-303	3,000	小倉あかり	H24-113	1,000
歌田勝弘	S12-206	10,000	野中和子	S35-444	3,000	吉田 仁	S37-539	3,000	伊藤 力	S38-504	1,000
高梨直樹	S56-216	10,000	佐藤理恵子	S46-250	3,000	坂本 歩	S48-411	3,000	藤井 摂	S52-123	1,000
鳥居 明	S41-226	10,000	今福 潔	S43-304	3,000	殿塚恭朗	S40-325	3,000	住田英夫	S28-313	1,000
林 潤洙	S44-130	10,000	乗杉輝彦	S41-427	3,000	佐々木深雪	S44-444	3,000	尾原愛理彩	H28-901	1,000
後藤麻佑	H09-122	10,000	石橋義通	S42-504	3,000	金澤賢一	S58-310	3,000	本間 暁	S60-419	1,000
山田素行	S54-424	10,000	岡田衛生	S08-334	3,000	秋元寿明	S38-401	3,000	黒須篤夫	S42-110	1,000
渡辺知明	S48-428	10,000	前川和弘	S28-124	3,000	長谷川知栄	H08-110	3,000	長山和枝	S28-334	1,000
高橋 遠	S37-425	10,000	新妻普宣	S59-119	3,000	三上喜貴	S39-533	3,000	磯貝しま	S20-917	1,000
星野雅信	S42-228	10,000	五宝訓光	S38-215	3,000	相川太希	R01-201	3,000	斉藤裕康	S38-316	1,000
川村知重	S31-212	8,000	植芝恭子	S35-157	3,000	相川大知	H27-201	3,000	土方 純	S38-226	1,000
坪内文生	S33-425	8,000	岡本幸憲	S33-111	3,000	坪倉 栄	S44-548	3,000	島村隆一	S31-218	1,000
遠藤英樹	S63-106	8,000	小池郷子	S41-545	3,000	岡本佳士	R05-207	3,000	上間琉乙心	R03-117	1,000
成川 澄	S46-226	8,000	杉田 隆	S41-121	3,000	齋藤慧星	H28-212	3,000	上間結心	R01-237	1,000
新井 巖	S30-202	8,000	小野里輝夫	S21-123	3,000	井上直紀	H24-108	3,000	大嶋幸子	S33-249	1,000
吉岡 璋	S30-361	8,000	木村仁美	S42-347	3,000	井上拓紀	H27-106	3,000	額田麻倫子	S32-350	1,000
降旗健人	S16-445	8,000	知野光雄	S35-319	3,000	大井誠一	S40-406	3,000	引田瑞穂	S38-426	1,000
松本豊和	S35-235	8,000	三木信子	S41-149	3,000	小野亮介	H18-112	3,000	中山義喜	H16-224	1,000
宮入 守	S36-634	8,000	山田眞之助	S42-236	3,000	井上良夫	S33-305	3,000	元田順子	S33-452	1,000
下島公明	S44-526	8,000	横溝陽一	S41-135	3,000	金子康雄	S40-108	3,000	大塚朝治	S20-146	1,000
猪口雄二	S41-504	8,000	和田高士	S43-543	3,000	服部篤彦	S49-226	3,000	田中啓子	S18-318	1,000
清水規昭	S59-211	8,000	長束成博	S42-426	3,000	板澤葉子	S36-646	3,000	森 勇乃祐	H24-229	1,000
戸倉章博	S42-528	8,000	大石義和	S42-204	3,000	服部達彦	S59-217	3,000	丸山一義	S59-421	1,000
酒井吉郎	S30-321	8,000	宮脇信介	S47-131	3,000	正木美樹子	S20-930	3,000	平木孝治	S20-158	1,000
川並孝純	S53-107	8,000	井上善雄	S51-407	3,000	北村 晋	S41-514	3,000	武田昌男	S60-317	1,000
北村 正	S44-414	8,000	福山正和	S33-131	3,000	杉山充洋	S60-112	3,000	齋藤 遼	R04-212	500
田原 績	S45-424	6,000	山田有真	R04-233	3,000	海老原順子	S42-342	3,000	藤田元頼	R04-137	500
柳橋 讓	H01-323	6,000	常間地 力	S50-212	3,000	浅原寛人	S41-301	2,000	匿名	29 名	97,000
山岸敏子	S33-340	5,000	篠原敏修	S35-220	3,000	高島博志	S41-518	2,000	1,935,000 円		
杉村光嗣	H07-413	5,000	山岡照吾	S30-133	3,000	山地平二郎	S33-531	2,000			
杉村賢吾	H08-209	5,000	斉藤太治	S59-307	3,000	藤本 操	S38-328	2,000			
末光晃子	S33-142	5,000	中山康子	S40-446	3,000	市川建美	S32-102	2,000			
石川隆一	S41-106	5,000	石黒麻利子	S48-243	3,000	田中貴子	S55-235	2,000			
菊池宏信	S59-305	5,000	對間康二郎	S51-120	3,000	田中千景	H26-117	2,000			
						田中佑長	H24-321	2,000			

* 年会費（年 2000 円）とご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。
同窓会の全ての活動が円滑にすすめられておりますのも、ひとえに皆様のご理解とご支援によるものと、心より感謝申し上げます。

クラス会・同期会報告

昭和41年度卒6年1組の

クラス会報告

昭和41年度卒 横溝陽一

2025年4月5日(土)に古希を迎えたクラス会を桜が綺麗に咲く市ヶ谷駅近くのグランドヒル市ヶ谷で、17名の参加を得て、幹事中村君、杉田君、三木(旧姓佐藤)さんで開催しました。

久々の参加者としては、遠くは福岡から富田君、佐久間君、西川さんの参加を得て、昔を懐かしむ会となりました。

私達と同じ歳(大学はAFS留学のため1年下)の竹内まりやが50歳を越えた2006年に「五十路を越えた」と「人生の扉」と題して歌った時から、早くも20年近くが経ち、その時は、彼女が50代はZ世代と言って、70歳代は、All Rightと言った歳までいつの間にか来てしまいました。

今回は私達の卒業60周年となる2027年4月3日(土)13時から、神野君と西川さんと私が幹事となって、銀座交詢社でクラス会を開く予定です。



昭和38年度同期会の開催報告

天野隆

2025年3月6日北京カオヤード銀座店において同期会が行われました。3組4名、4組2名、5組10名、合計で16名が集まってくれました。

日頃からまずは気楽にLINEグループを作ろうということになり5組でそれを試してみました。ルールは単純。1人が「こんな会したいのですが、もしよかったら参加してください」とLINEでつぶやきます。不参加の場合には返信は不要です。このような仕組みがあるとその時に集まれるメンバーが気楽に集まれます。幹事の手間は省けます。

そんなわけで5組からスタートしたこのトライ。5組では20名がLINEグループ(高岸先生グループ)でつながっています。ゴルフ部もできました。3組も集まってくれました。そして4組も。そこで現在同期会(高杉校長先生グループ)のLINEグループは31名になっていきます。これから1組と2組の人にも参加してもらいたいと願っています。



今回のテーマは「何をしているとイキイキしているか?」自己紹介とともにシェアをしました。素敵なワークショップになりました。

た。もし同期の人がいたら気楽にメールをください。メールアドレスは amano1031@legacy.ne.jp です

「しのぶ会」開催報告

昭和38年度6年3組

大堀貴子

東京の桜満開宣言のあった、3月30日(日)12時より、半年振りにクラス会を開きました。

今回は、番町小学校、麴町中学校と進学した多くの仲間の思い出の地、麴町通りの海鮮居酒屋に、お店を設定しました。

前回は、横浜だったので、少人数でしたが、今回は、15名の参加となりました。出席者が固定されてきてはありますが、今回は、昨年末連絡がとれ、初めて参加できた女子がいて、彼女は、途中転校したため、卒業アルバムに載っていないのですが、14人の同級生に温かく迎え入れられ、とても感激してくれていたのが、印象的なクラス会でした。

当日お誕生日の男子がいて、彼がクラス最後の73歳でした。このような年齢になっておりますので、次回は、9月28日(日)と決め、この人数が減ることなく、再び、元気な顔を見ることが出来るようにと、約束して散会しました。



「竹馬会」昭和41年度卒2組

幹事代行 豊島快兒

令和7年1月18日（土）に竹馬会が5組浜田敏男君経営の八重洲龍名館東京において開催されました。龍名館のランチバイキングは和食を主体としたもので古希の私たちにはうってつけでした。

参加者は20名、うち女子は4人。参加男子のほとんどは竹馬会に皆勤でさらにその大半は個々に食事会や温泉旅行を企画して旧交をあたため、老後の生活を満喫しています。

参加した女子4人について、磯部（旧姓 浦野）さんは男子同様ほとんど皆勤でいわば竹馬会のアイドルです。藤野（旧姓 福水）さんは静岡県在住で今回は都合をつけて参加してくれました。若いころに静岡、牧之原に移住し、陶器制作に没頭していましたが、結婚を機に農業の手伝いをするようになったということです。

四ッ谷、若葉の中村（旧姓 渡邊）さんは祭り好きの旦那さんと須賀神社の年に一度の大祭を中心に生活しているそうです。そして富澤康子



さん、彼女は卒業以来、竹馬会に初めて出席しました。富澤さんは女子医大病院のお医者さんで数年前に退職したそうです。ちょうど今回の竹馬会の数か月前に世間を騒がした元理事長の話を面白おかしく話してくれました。

その後、2次会、3次会と場所をかえて、午後6時頃にお開きになりました。

昭和41年度卒 古希同期会

2組 豊島快兒

昨年度、古希を迎えた昭和41年度同期会を、令和7年5月17日（土）龍名館お茶ノ水にて開催しました。当日の出席者は、1組1名、2組10名、3組12名、4組9名、5組12名、計44名でした。1組はこのひと月前にクラス会を開催しており、幹事一人の参加になりました。私た

ちの同期会は20数年前に開催されて以来です。当日は龍名館のおいしい食事に舌鼓を打ちながら、旧交を深めました。



湖山医療福祉グループ 医療は科学、介護は文化です。

代表
湖山 泰成

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12
銀座メディカルビル9階
TEL : 03-6274-6421 FAX : 03-6274-6422
URL : <https://koyama-gr.com>

龍名館は1899年に創業。
これまで受け継いだ「伝統」と「人の力」で体現する
高品質なおもてなしを、
お客様一人ひとりにご提供いたします。



昭和42年3月卒業
浜田敏男

ホテル龍名館お茶の水本店
HOTEL RYUOMEKAN OCHANOMIZU HONTEN

ホテル龍名館東京
HOTEL RYUOMEKAN TOKYO

1899
HOTEL
TOKYO

1899
RESTAURANT
OCHANOMIZU

花
RYUOMEKAN
TOKYO

1899
CHAYA
TOKYO

ホテル龍名館お茶の水本店
東京都千代田区神田駿河台3-4
(ホテル1F RESTAURANT 1899
OCHANOMIZU)

ホテル龍名館東京
東京都中央区八重洲1-3-22
(ホテル15F 花ごよみ東京)

ホテル1899東京
東京都港区新橋6-4-1
(ホテル1F CHAYA
1899 TOKYO)

ホテル龍名館お茶の水本店
予約: Tel 03-3251-1135
RESTAURANT 1899
OCHANOMIZU
予約: Tel 03-3251-1150

ホテル龍名館東京
予約: Tel 03-3271-0971
花ごよみ東京
予約: Tel 03-3271-1135

ホテル1899東京
予約: Tel 03-3432-1899
CHAYA 1899 TOKYO
予約: 03-3432-1890

ホテル/レストランの休業日・貸切営業日がございます。各スケジュールにしましては恐れ入りますがホームページをご確認ください。

広告コーナー始めました!!

お問い合わせ Tel 〇八〇-三〇二二-〇〇一
HP: <https://bancho-obog.com>

百年前の同窓会誌と名簿が出現！

歴史を誇る番町小学校ですが、同窓会の歴史については実はよく分かっていません。創立五〇年・六五年の時には立派な記念誌が作られ、同窓会の名義で寄付や協賛事業が行われているのですが、同窓会の組織や構成については何も書き残されておりません。戦後校長を勤められた高杉新作先生の回想『江戸更紗』（一九七四）によると、同窓会長は校長が兼務して預かっていたのを、創立八〇周年で戦後復興を祝し、昭和天皇をお招きすることになったときに、山地三平氏に同窓会の運営を委ね、戦後最初の会長になってもらったということです。

隣の学区だった永田町小学校では、昭和四年（一九二九）三月に校章にちなんだ『かがみ』という同窓会誌が発刊されており、たまたま古書店で実物入手することができました。また富士見小学校では戦前の父兄会の継続刊行物があったようで、古書市の目録に出ているのを見たことがあります。（高額だったので入手はあきらめました）それより規模・人数の大きい番町でも、何かそのようなものがあったのではないかと想像はしていたのですが、そういうものを知る卒業生には出会っていませんでした。

ところが昨年三月、大黒香織さんという方から、お祖母様（島村順子・旧姓大倉）の遺品が発見されたとのことで、資料を一括して学校に寄贈して下さるようになりました。島村さんは大正九年（一九二〇）三月の卒業生です。卒業記念写真帖や作文などと一緒に、昭和二年（一九二七）十二月付の同窓生名簿と、翌年一月に刊行された同窓会誌『かをり』の創刊号が含まれていたので驚きました。

当時の番町小学校をとりまく状況を考えてみると、大正九年（一九二〇）に盛大な創立五〇周年記念式典が開催された翌々年の七月に木造校舎が漏電により全焼します。それを受けて鉄筋コンクリート造りの新校舎が建設されますが、竣工目前の大正十二年（一九二三）に関東大震災が起こり、建設中の校舎の被害は免れたものの、竣工は翌年三月に延期

となりました。

そんな混乱があったためか、昭和五年（一九三〇）には、創立六〇周年を記念する事業は行われず、昭和十一年（一九三六）になって、創立六五周年という変則的な年に記念式典が行われています。昭和四年（一九二九）秋にアメリカから始まった世界大恐慌の影響があったのではないかと想像されます。

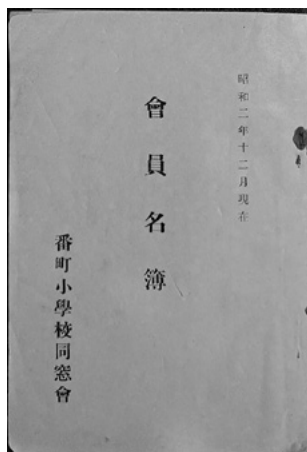
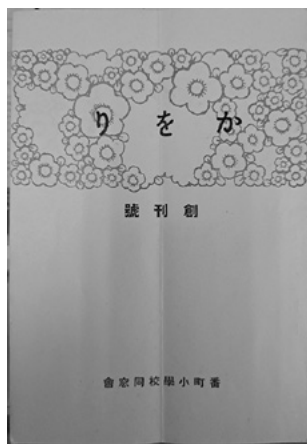
今回発見された同窓会誌と名簿は、大恐慌直前、新校舎の運営が軌道に乗り、創立六〇周年を準備しようかというような時期に、支援態勢を整えるための準備作業として進められたのではないかと思います。

多忠烈氏による同窓会誌発刊の辞によると、番町同窓会は創立五〇周年にあたって再興され、その後男子部・女子部に分かれて活動していたものを、このたび合同して一つの同窓会にしたとのこと。名簿の最初には同窓会会則が掲載されていますが、会長は校長が兼務し、主事は教職員、幹事は同窓生男女各五名とされているので、同窓会は学校主体の運営がなされていたことが分かります。

同窓会誌には、同窓生から寄稿された興味深い記事が集められておりますが、それについては追って御紹介したいと思っております。

番町小学校に強い母校愛を抱き、貴重な資料を守り残して下さった故島村順子さま、そしてその想いを受け継いで母校に伝えて下さった孫の大黒香織さまに、同窓会を代表して厚く感謝をささげたいと思います。

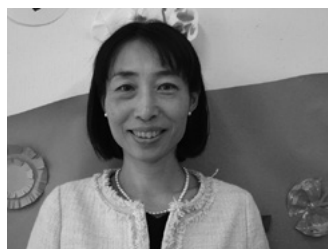
（西岡芳文）



番町幼稚園 副園長 新任のご挨拶

番町幼稚園 副園長

荒木 久子



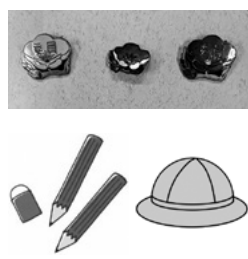
平成13年4月1日、区役所で入区式を終え、当時の校園長先生でいらした青木靖先生に導かれくぐった番町の正門。「今日からここで、子どもの頃からの夢だった教員人生がスタートするのだな。」と感慨深く見上げた桜が今でも胸に浮かびます。ご縁あり、平成13年～平成17年、平成27年～平成31年、そして、この度令和7年から3度目の番町への着任となりました。

二十数年前の保護者の方が現在は運営連絡委員など様々な形で園を支えてくださり、町会をはじめ地域の皆様が引き続きご尽力くださっており、本当に心強く思わず「ただいま」という言葉が出てきた4月でした。改めて、学校や幼稚園が時代や世代を超えて人と人をつなぎ、過去と未来をつなぐ場であり、たくさんの方の思いや願いが詰まったかけがえない場であるという事を強く感じました。このご縁に改めて感謝すると共に、これまでの子どもたちにとっても、これから子どもたちにとっても、様々につながり続ける場である「番町」を、未来につないでいかれるよう、保護者や地域の皆様と手を携えて尽力して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

さよなら ニコニコ堂

昭和の初期から百年余り番町小学校の教材や文具を扱っていたニコニコ堂が閉店されました。昭和の初めの頃は、正門の横隣りにありましたが、その後、今の場所に移られ、永く番町小学校のこども達がお世話に

なりました。学校のイベントにニコニコ堂の小林様から消しゴム・鉛筆等の文具を景品としてご寄付していただいております。文具だけでなく黄色い通学帽や梅の校章が表誌に印刷された各教科のノート、学年カラーのバッジ等、学校生活に必要なものも扱っていました。店主の小林勝彦様（昭和13年度卒業）は、小学生の頃、穏やかで人望も厚く、相撲に見識もあり相撲大会では名行司でした。クラスメートにしこ名をつけるセンスも抜群でした。（例えば、〇〇春子ちゃんは春の海、〇〇孝夫君は孝昇……）大人になられニコニコ堂を経営されていましたが、若くして亡くなり、その後は奥様がお店を守ってこられました。お店の閉店でこの辺りの景色が変わってしまい寂しい限りです。



《編集後記》

・番町小学校の在校生には外国籍のお子さんも増えてきました。会報誌もグローバルな色を出していかなければならないかも。（T）
・何もしない編集員、他事に忙殺される夏でした（S）
・交流イベントのお手伝いや懇親会で、同窓会の方々から処方された「言葉の薬」が、お陰様で私の魂を見事に復活させました。（E）